

6月5日は国連が定めた「世界環境デー」！ サーモス 2025年度サステナビリティ活動実績レポート

- ① 「使用済みステンレス製魔法びん」回収サービス
- ② ドリンク容器リユースサービスの本格導入
- ③ 岩手県内・新潟県内のこども食堂への支援

魔法びんのグローバル企業として、人と社会に快適で環境にもやさしいライフスタイルを提案するサーモス株式会社（本社：東京都港区 社長：片岡 有二）は、サステナビリティテーマ「人と環境にやさしいサーモス」を掲げています。6月5日は国連が定めた「世界環境デー」です。より豊かで快適な生活につながる製品やサービスをみなさまにお届けしながら、地球環境への負荷低減に取り組むことは、当社が果たすべき重要な使命と考え、サステナビリティ活動に取り組んでいます。

このたび、当社における2025年度の主な3つのサステナビリティ活動実績をお知らせします。

- ① 「使用済みステンレス製魔法びん」回収サービス
- ② ドリンク容器リユースサービスの本格導入
- ③ 岩手県内・新潟県内のこども食堂への支援

① 「使用済みステンレス製魔法びん」回収サービス

当社では、「使用済みステンレス製魔法びん」の再資源化を目的として、2023年5月より直営店にて回収サービスを進めており、ステンレス製魔法びん構造のボトル、タンブラー、カップ、スープジャーを対象に回収しています。

2025年度は、パートナー契約を結ぶプロスポーツチームが運営するスポーツ施設や、ホームゲーム会場へと回収場所を拡大しました。これにより、年間回収量は約2,200kgとなり、サービス開始以降の累計回収量は約3,900kgに達しました。

今後もお客さまやパートナーとともに、循環型社会の実現に向けて取り組みを継続します。



回収ボックス



フタなどの樹脂パーツ破碎後



ノベルティ
(マグネットクリップ)

【実績】

■ 「使用済みステンレス製魔法びん」累計回収量
約3,900kg（真空断熱ケータイマグ 約18,000本相当 ※1）

■ 回収期間
2023年5月～2026年5月

■ 回収場所（※2）

- ・サーモス直営店（サーモス スタイリングストア：4店舗、サーモス ストア：18店舗）
- ・スポーツ試合会場（川崎フロンターレ ホームゲーム、アルビレックス東京 ホームゲーム）
- ・その他イベント会場、スポーツ施設など

■回収対象製品

他社製品を含む使用済みステンレス製魔法びん構造（真空断熱構造）のボトル、タンブラー、カップ、スープジャー

▼ステンレス製魔法びん回収サービスの詳細はサーモス公式 WEB サイトをご確認ください。

<https://www.thermos.jp/sustainability/recycling/>

■循環への取り組み

回収後に再資源化した樹脂パーツの一部は、ノベルティとして再生し、当社が参加したイベントにて配布いたしました。

(※1) 当社 JNL シリーズ 0.5L サイズ換算

(※2) 2026年6月5日現在

② ドリンク容器リユースサービスの本格導入

2025年10月よりドリンク容器リユースサービスを本格導入しました。当サービスは、リユース可能な「真空断熱タンブラー」を無償で貸し出すことで、ホームゲーム会場内での使い捨て容器の削減を目指す取り組みです。

「アルパレク東京」の新ホームアリーナ（TOYOTA ARENA TOKYO）のホームゲームにて本格導入し、1試合あたりのサービス利用者はシーズンが進むにつれ増加しました。お客さまからは、環境に配慮する側面だけでなく、真空断熱効果により試合観戦中のドリンクの冷たさをキープできる点もご好評いただいております。

2025-26シーズンのリユース容器返却率は約99%となり、継続的に利用いただけるサービスとして定着の第一歩となりました。今後も、スポーツ観戦を快適に楽しみながら環境負荷低減につながる取り組みを推進してまいります。



リユースタンブラー貸出・返却ブース

【実績】

■累計貸出数（使い捨て容器削減数）

約3,100個

■延べ利用者数

約1,800人（期間：2025年10月～2026年4月 ホームゲームにて実施）

【利用後のアンケート結果】

・「今後もドリンク容器リユースサービスを利用したい」と回答した方：83%（※）

（※）対象：2025-26シーズン アルパレク東京 ホームゲームでの利用者

（※）「ぜひ利用したい」、「機会があれば利用したい」と回答した方も含まれます。

【利用した理由】（上位4項目／複数回答可）

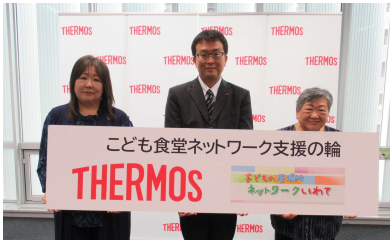
- ・環境に良いと思ったから
- ・飲み物の温度をキープできると思ったから
- ・無料のサービスだから
- ・ドリンクの割引があったから

③ 岩手県内・新潟県内のこども食堂への支援

当社では、こども食堂が抱える運営コスト増加や調理負担といった課題に対し、調理効率化の側面から運営を支えるため、2024年よりフライパンをはじめとした調理器具の寄贈を行っています。

2025年度には、10月に岩手県内（約110か所）、2026年3月に新潟県内（約70か所）のこども食堂に調理器具寄贈の支援を行いました。調理器具を活用することで、調理時間が短縮され、地域の方とこどもたちのコミュニケーションを育む時間が増えることを願っております。

今後も温かい食事とともに笑顔とつながりの輪がさらに広がる活動を推進していきます。



岩手県での贈呈式の様子



新潟県での贈呈式の様子



子ども食堂で実際に使用されている様子

【岩手県贈呈式概要】

主催：子どもの居場所ネットワークいわて
実施日：2025年10月11日
実施場所：キオクシアアイーナ
支援品：フライパン

【新潟県贈呈式概要】

主催：新潟子ども食堂・居場所ネットワークにこねっと
協力：新潟県福祉保健部子ども家庭課
実施日：2026年3月19日
実施場所：新潟県庁 記者発表室
支援品：フライパン、真空保温調理器シャトルシェフ